

教科名	英語	科目名	英語コミュニケーションⅠ	対象学年	1 学年	履 修	必修
対象学科	全学科	コース		単位数	3 単位	時 数	105
目 標 (生徒につけ たい力等)	・日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用しながら、 1. 必要な情報を聞き取り(または書き取り)、話し手(または書き手)の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じてとらえることができるようにする。〈聞くこと・読むこと〉 2. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意しながら話すことでやりとりを続け、伝え合うことができる。または伝えられるようにする。〈話すこと(やりとり・発表)〉 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意しながら文章を書いて伝えることができる。〈書くこと〉						

学 期	時数(時間)	学 習 項 目(何を学ぶのか)	学 習 内 容(どのように学ぶのか)		
1学期	10	Lesson 1 SNS について	・文章の内容を理解するとともに、次の事項も確認する。 時制、助動詞、英語の語順		
	11	Lesson 2 チョコレートの歴史	・文章の内容を理解するとともに、次の事項も確認する。 進行形、不定詞、動名詞、英語の音の特徴		
	11	Lesson 3 羽生結弦の活躍	・文章の内容を理解するとともに、次の事項も確認する。 that 節、現在完了、受け身、英語の音の特徴		
2学期	13	Lesson 4 e スポーツについて	・文章の内容を理解するとともに、次の事項も確認する。 比較、SVO + to 不定詞、指示語が指す内容		
	14	Lesson 5 野村萬斎の活躍	・文章の内容を理解するとともに、次の事項も確認する。 分詞・形式主語、説明・描写・提案の方法		
	14	Lesson 6 映画『この世界の片隅に』	・文章の内容を理解するとともに、次の事項も確認する。 現在完了進行形、関係代名詞、疑問詞節		
3学期	11	Lesson 7 24 時間営業店舗について	・文章の内容を理解するとともに、次の事項も確認する。 That 節、助動詞＋受け身、関係詞 what、過去完了		
	11	Lesson 8 AI(人工知能)について	・文章の内容を理解するとともに、次の事項も確認する。 Some と others、分詞構文、関係副詞		
	10	Lesson 9 海洋プラスチック汚染問題	・文章の内容を理解するとともに、次の事項も確認する。 SVOC(原形不定詞・分詞)、if 節、仮定法過去		
教科書/ 副教材	教科書「Vivid English Communication I」(第一学習社)、ワークブック、単語帳				
関連科目					
評価の 観 点	知識・技術	各レッスンの表現や文法事項について、形、意味、用法などを知識として習得できたか。実際のコミュニケーションで活用できる技能を身につけられたか。			
	思考・判断・表現	各レッスンにおける目的、場面、状況に応じ、情報を整理しながら考えることができたか。その考えを適切に英語で表現できたか。			
	主体的に学習に取り組む態度	目標に掲げた観点に基づき、授業や授業内の活動に対してまじめに取り組めたか、また、課題や宿題に対して期限を守り、きちんと取り組めたか。			
評価の 観 点 ・ 方 法	評価方法		知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	座学(学習観察、発言、話し合い等)		○	○	○
	実験・実習(行動観察、技能)		○		○
	テスト等(パフォーマンステストを含む)		○	○	○
	レポート・ノート・課題等		○	○	○
	自己評価			○	○
評価割合(%)		60	20	20	
留意事項					
備考					

教科名	英語	科目名	英語コミュニケーションⅡ	対象学年	2 学年	履 修	必修
対象学科	全学科	コース		単位数	3 単位	時 数	105
目 標 (生徒につけ たい力等)	・日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用しながら、 1. 必要な情報を聞き取り(または書き取り)、話し手(または書き手)の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じてとらえることができるようにする。〈聞くこと・読むこと〉 2. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意しながら話すことでやりとりを続け、伝え合うことができる。または伝えられるようにする。〈話すこと(やりとり・発表)〉 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意しながら文章を書いて伝えることができる。〈書くこと〉						

学 期	時数(時間)	学 習 項 目(何を学ぶのか)	学 習 内 容(どのように学ぶのか)		
1学期	10	Lesson 1 日本人アスリートと英語	・文章の内容を理解するとともに、次の事項も確認する。 S+V+C(=現在分詞・過去分詞)		
	11	Lesson 2 バナナの話	・文章の内容を理解するとともに、次の事項も確認する。 seem to do、形式主語構文、強調表現		
	11	Lesson 3 自然災害と防災について	・文章の内容を理解するとともに、次の事項も確認する。 It is 形容詞 that 節、完了形、完了形(受け身)		
2学期	10	Lesson 4 国際化する日本社会	・文章の内容を理解するとともに、次の事項も確認する。 S+V+O+O(名詞節)、関係代名詞(制限・非制限用法)		
	10	Lesson 5 『くうとしの』(犬と猫の物語)	・文章の内容を理解するとともに、次の事項も確認する。 群動詞(受け身)、関係副詞(制限・非制限用法)		
	10	Lesson 6 ドローンについて	・文章の内容を理解するとともに、次の事項も確認する。 副詞節(時、理由)、分詞構文(現在分詞)、助動詞		
	11	Lesson 7 スーパークローン文化財	・文章の内容を理解するとともに、次の事項も確認する。 副詞節、分詞構文(過去分詞)、前置詞と関係代名詞		
3学期	11	Lesson 8 平和のメッセージ 広島から	・文章の内容を理解するとともに、次の事項も確認する。 倒置、同格、S+V+O+C(原形不定詞・分詞)		
	11	Lesson 9 若者の地域社会参画と貢献	・文章の内容を理解するとともに、次の事項も確認する。 省略、完了不定詞、仮定法、All you have to do is ～		
	10	Lesson 10 ワイルドライフツーリズム	・文章の内容を理解するとともに、次の事項も確認する。 倒置、分詞構文(完了形)、複合関係詞		
教科書/ 副教材	教科書「Vivid English Communication Ⅱ」(第一学習社)、ワークブック、単語帳				
関連科目					
評価の 観 点	知識・技術	各レッスンの表現や文法事項について、形、意味、用法などを知識として習得できたか。実際のコミュニケーションで活用できる技能を身につけられたか。			
	思考・判断・表現	各レッスンにおける目的、場面、状況に応じ、情報を整理しながら考えることができたか。その考えを適切に英語で表現できたか。			
	主体的に学習に取り組む態度	目標に掲げた観点に基づき、授業や授業内の活動に対してまじめに取り組めたか、また、課題や宿題に対して期限を守り、きちんと取り組めたか。			
評価の 観 点 ・ 方 法	評価方法		知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	座学(学習観察、発言、話し合い等)		○	○	○
	実験・実習(行動観察、技能)		○		○
	テスト等(パフォーマンステストを含む)		○	○	○
	レポート・ノート・課題等		○	○	○
	自己評価			○	○
評価割合(%)		60	20	20	
留意事項					
備考					

教科名	英語	科目名	英語活用	対象学年	2 学年	履 修	選択
対象学科	生物工学科	コース		単位数	2 単位	時 数	70
目 標 (生徒につけ たい力等)	<p>・日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用しながら、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 必要な情報を聞き取り(または書き取り)、話し手(または書き手)の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じてとらえることができるようにする。〈聞くこと・読むこと〉 2. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意しながら話すことでやりとりを続け、伝え合うことができる。または伝えられるようにする。〈話すこと(やりとり・発表)〉 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意しながら文章を書いて伝えることができる。〈書くこと〉 						

学 期	時数(時間)	学 習 項 目(何を学ぶのか)	学 習 内 容(どのように学ぶのか)		
1学期	20	ZOOM Lesson 1 -6 WORD MEISTER 345 -800	・毎回授業時に語彙力増強のため単語テストを実施。 ・問題集に取り組みながら、英語表現の基礎を定着させつつ、4技能の習得を目指す。 ・以下の事項について学ぶ。 いろいろな文、文型、動詞の形(現在・過去・未来)		
2学期	28	ZOOM Lesson 7 -16 WORD MEISTER 801-1500	・毎回授業時に語彙力増強のため単語テストを実施。 ・問題集に取り組みながら、英語表現の基礎を定着させつつ、4技能の習得を目指す。 ・以下の事項について学ぶ。 完了形、助動詞、受動態、不定詞、動名詞、分詞		
3学期	22	ZOOM Lesson 17 -23 WORD MEISTER 1500 -1941	・毎回授業時に語彙力増強のため単語テストを実施。 ・問題集に取り組みながら、英語表現の基礎を定着させつつ、4技能の習得を目指す。 ・以下の事項について学ぶ。 比較、関係詞、仮定法、 時間があれば接続詞、話法、重要構文も扱う。		
教科書/ 副教材	『ZOOM 総合英語』、『WORD MEISTER 3000』、その他適宜判断				
関連科目					
評価の 観 点	知識・技術	各レッスンの表現や文法事項について、形、意味、用法などを知識として習得できたか。実際のコミュニケーションで活用できる技能を身につけられたか。			
	思考・判断・表現	各レッスンにおける目的、場面、状況に応じ、情報を整理しながら考えることができたか。その考えを適切に英語で表現できたか。			
	主体的に学習に取り組む態度	目標に掲げた観点に基づき、授業や授業内の活動に対してまじめに取り組めたか、また、課題や宿題に対して期限を守り、きちんと取り組めたか。			
評価の 観 点 ・ 方 法	評価方法		知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	座学(学習観察, 発言, 話し合い等)		○	○	○
	実験・実習(行動観察, 技能)		○		○
	テスト等(パフォーマンステストを含む)		○	○	○
	レポート・ノート・課題等		○	○	○
	自己評価			○	○
評価割合(%)		60	20	20	
留意事項					
備考					

教科名	英語	科目名	英語総合(基礎)	対象学年	3 学年	履 修	選択
対象学科	全学科	コース		単位数	2 単位	時 数	70
目 標 (生徒につけ たい力等)	・日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用しながら、 1. 必要な情報を聞き取り(または書き取り)、話し手(または書き手)の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じてとらえることができるようにする。〈聞くこと・読むこと〉 2. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意しながら話すことでやりとりを続け、伝え合うことができる。または伝えられるようにする。〈話すこと(やりとり・発表)〉 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意しながら文章を書いて伝えることができる。〈書くこと〉						

学 期	時数(時間)	学 習 項 目 (何を学ぶのか)	学 習 内 容 (どのように学ぶのか)		
1学期	20	・SPOTLIGHT BOOK2 Lesson 1-5	・問題集に取り組みながら、英語表現の基礎を定着させつつ、4技能の習得を目指す。 ・以下の事項について学ぶ。 文型、時制、助動詞、受動態		
2学期	28	SPOTLIGHT BOOK2 Lesson 6 - 11	・問題集に取り組みながら、英語表現の基礎を定着させつつ、4技能の習得を目指す。 ・以下の事項について学ぶ。 不定詞、動名詞、分詞、比較		
3学期	22	SPOTLIGHT BOOK2 Lesson 11 - 15	・問題集に取り組みながら、英語表現の基礎を定着させつつ、4技能の習得を目指す。 ・以下の事項について学ぶ。 関係詞、句、節		
教科書/ 副教材	『SPOTLIGHT BOOK2』(数研出版)				
関連科目					
評価の 観 点	知識・技術	各レッスンの表現や文法事項について、形、意味、用法などを知識として習得できたか。実際のコミュニケーションで活用できる技能を身につけられたか。			
	思考・判断・表現	各レッスンにおける目的、場面、状況に応じ、情報を整理しながら考えることができたか。その考えを適切に英語で表現できたか。			
	主体的に学習に取り組む態度	目標に掲げた観点に基づき、授業や授業内の活動に対してまじめに取り組めたか、また、課題や宿題に対して期限を守り、きちんと取り組めたか。			
評価の 観 点 ・ 方 法	評価方法		知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	座学(学習観察, 発言, 話し合い等)		○	○	○
	実験・実習(行動観察, 技能)		○	○	○
	テスト等(パフォーマンステストを含む)		○	○	○
	レポート・ノート・課題等		○	○	○
	自己評価			○	○
	その他()				
評価割合 (%)		60	20	20	
留意事項					
備考					

教科名	英語	科目名	英語総合(発展)	対象学年	3 学年	履 修	選択
対象学科	全学科	コース		単位数	2 単位	時 数	70
目 標 (生徒につけ たい力等)	・日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用しながら、 1. 必要な情報を聞き取り(または書き取り)、話し手(または書き手)の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じてとらえることができるようにする。〈聞くこと・読むこと〉 2. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意しながら話すことでやりとりを続け、伝え合うことができる。または伝えられるようにする。〈話すこと(やりとり・発表)〉 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意しながら文章を書いて伝えることができる。〈書くこと〉						

学 期	時数(時間)	学 習 項 目 (何を学ぶのか)	学 習 内 容 (どのように学ぶのか)		
1学期	20	・SPOTLIGHT BOOK3 Lesson 1-5 ・ZOOM 総合英語	・問題集に取り組みながら、英語表現の基礎を定着させつつ、4技能の習得を目指す。 ・以下の事項について学ぶ。 時制、助動詞、受動態、不定詞、動名詞		
2学期	28	SPOTLIGHT BOOK3 Lesson 6 - 11 ・ZOOM 総合英語	・問題集に取り組みながら、英語表現の基礎を定着させつつ、4技能の習得を目指す。 ・以下の事項について学ぶ。 分詞、比較、関係詞、仮定法		
3学期	22	SPOTLIGHT BOOK3 Lesson 11 - 15 ・ZOOM 総合英語	・問題集に取り組みながら、英語表現の基礎を定着させつつ、4技能の習得を目指す。 ・以下の事項について学ぶ。 仮定法、否定、各種構文、名詞や代名詞		
教科書/ 副教材	『SPOTLIGHT BOOK3』(数研出版) 副教材『ZOOM 総合英語』(第一学習社)				
関連科目					
評価の 観 点	知識・技術	各レッスンの表現や文法事項について、形、意味、用法などを知識として習得できたか。実際のコミュニケーションで活用できる技能を身につけられたか。			
	思考・判断・表現	各レッスンにおける目的、場面、状況に応じ、情報を整理しながら考えることができたか。その考えを適切に英語で表現できたか。			
	主体的に学習に取り組む態度	目標に掲げた観点に基づき、授業や授業内の活動に対してまじめに取り組めたか、また、課題や宿題に対して期限を守り、きちんと取り組めたか。			
評価の 観 点 ・ 方 法	評価方法		知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	座学(学習観察, 発言, 話し合い等)		○	○	○
	実験・実習(行動観察, 技能)		○	○	○
	テスト等(パフォーマンステストを含む)		○	○	○
	レポート・ノート・課題等		○	○	○
	自己評価			○	○
	その他()				
評価割合 (%)		60	20	20	
留意事項					
備考					